

# ニュースレター 3月

2021. 3. 1発行



今月はコロナ禍で変化する日本の間取りについてお届けします。



HPのお問合せはこちらから

コロナ禍で家族の時間が増えたことを実感している人は多いものです。おうち時間が増えれば、快適な家の間取りも変わります。消えていった間取り、これからの必要な間取りをご紹介します。

## 1、驚くほど増えた、家族と過ごす時間



コロナ禍で約4人に1人が家族の時間が増えたことを実感し、その増えた時間の平均は、なんと1日当たり4.4時間という調査結果が出ました。

おうち時間が増えれば、快適な家の間取りも変わります。消えていった間取り、これから必要な間取りはどのようなものがあるのでしょうか？

## 2、「消えた」間取り……小さな部屋はもう要らない？



コロナ禍を通じて高まったのが、家に帰ったらすぐに手が洗えるようにしたい、玄関にマスク収納が欲しい、家の中までコートを持ち込みたくないテレワークスペースを確保したいといった声。生活スタイルが変われば、暮らしやすい家のカタチもまた変化しています。

これまでも社会情勢や暮らし方の変化によって、求められる家の間取りは変わり続けてきました。

### ・30年ほど前は「部屋数」を重視した家づくり

たとえば今から30年ほど前までは部屋の数で重視され、4LDK、5LDKといった部屋数で家を評価する傾向がありました。というのも、それぞれの個室を確保したうえで、応接間や和室、台所、食堂、リビングなどそれぞれの用途に合わせた部屋を用意する作りが一般的だったからです。

そうなれば、ひとつひとつの部屋の面積は小さくなってしまいます。だから築年数が古い家は、小さな部屋がたくさんある間取りの家が多いのです。今となっては使いにくい間取りですから、空間を広げて部屋数を減らしたいというリフォームが増えていきます。

### ・最近の家には減多にない「応接間」と……

今の時代はといえば、専用の応接間がある家は、よっぽどの豪邸でないとなかなか見ることがありません。和室も、今どき分譲される新築一戸建てやマンションではある家の方が珍しい状況です。

家族が小さな単位になったことで来客も減り、応接間はリビングと融合。和室も暮らし方の変化で使わなくなり、やはりリビングと融合。より広々とした空間が好まれるようになりLDKが一体化するなど、いくつかの部屋が消える代わりに、リビングが大きく広がることとなりました。

## 3、大きく変化した「リビング」の使い方



リビングが広がったことで、今度はそのリビングをどう使うかを考える必要が出てきます。

というのも、従来のリビングは家族でテレビを見る、ゲームをする、おしゃべりをするといったように、みんなで集まって何かひとつのことを目的に考えられてきました。

ところがそうはいつでも、それぞれにやりたいことが違ったり、家族で集まって一緒にすることもそれほどなかったり、結局リビングに人がいない、個室に閉じこもるという状況が生まれたのです。

そこで注目されるようになったのが、自然に家族が集まり、家族の絆を感じられる間取りです。大きな災害を何度か経て、家族が助け合う暮らし、家族の絆を大切さを改めて実感し、家の間取りにも変化をもたらしました。

たとえば、リビングの一角にワークスペースを作ったり、リビング内にデスクを分散させて置いたり。家族と同じ空間でお互いの気配を感じながら、それぞれ好きなことを楽しめる間取りです。

ところが、おうち時間やテレワークが増えた今、また別の問題が生まれてきました。小さくてもいいので部屋を壁で囲いたい、もっとしっかりとした個のスペースを確保したいという声です。

## 4、家の中で「ひとりになれる」場所が欲しい



家族の気配を感じられる間取り、絆を感じられる間取りは、普通ばらばらに過ごしている時間が多いからこそ価値があるものです。おうち時間が増えていつも一緒となれば、また話は変わります。ストレスが溜まってたまには一人になりたい！と思うこともあるでしょう。

テレワーク問題もあります。リビングの一角ではどうしても気が散ってしまう。テレビの音や話し声が耳に入る。集中できないなどの悩みは多く、テレワークの時には子供部屋や車の中、トイレなどに移動しているという家庭内ノマドワーカーの話もあります。

写真は移動が可能な間仕切り家具。リビングを広く使いたいときには壁に寄せテレワークの時は間仕切りとして使えます。

家にいる時間が長くなれば、今度は個のスペースが必要となります。といっても昔のように小さな部屋がたくさんある間取りにするのではなく、システム家具や可動間仕切り壁を上手に使えば、生活スタイルや、暮らしのシーンに合わせてフレキシブルに間取りを変化できます。

今の時代に考えたいのは、みんなと一緒に暮らすだけではなく、個も充実した暮らしです。個が充実してこそ、家族一緒にの時間がより幸せに感じられるのではないのでしょうか。ひとりひとりが幸せを感じる住まいづくりを目指していただけたらと思います。

土木建築  
リフォーム

本社  
リフォーム

株式会社 渡辺組  
本社 海津市海津町高須町720-1  
0584-53-0174  
海津市海津町馬目371-3 (コーポ日新1F)  
0120-202-988  
E-mail: info@watanabegumi-kaizu.com  
URL: http://www.watanabegumi-kaizu.com/



\*毎月皆様の暮らしのお役立ち情報をお届けしています。何かお気付きの事や知りたい事などございましたらいつでもご遠慮なくお申し付け下さい。皆様のご意見ご感想を元にお役に立てれば幸いです。